

うつほの杜学園 学問的誠実性ポリシー (Academic Integrity Policy)

1. 学問的誠実性の理念 (Philosophy)

うつほの杜学園小学校（以下、本学）では、学問的誠実性を「学びの根幹」と捉えている。学習者が自らの思考と行動に責任を持ち、他者や社会との信頼関係を築くことが、持続可能（サステナブル）な未来を創造する第一歩であると考えている。この理念は、「信念を持つ（Principled）」人を要請することに通じる。

2. 学問的誠実性の定義 (Definition)

学問的誠実性とは、学習活動において正直で責任ある行動をとり、他者の成果や知的財産を尊重することを意味する。具体的には、以下の行為を含む：

- 他者のアイデアや作品を適切に引用・参照すること
- 自らの思考や成果を正確に表現し、虚偽の情報を提供しないこと
- 協働作業において、公平かつ透明な貢献を行うこと

3. 学問的誠実性の育成 (Cultivating Integrity)

学問的誠実性は、生まれつきの資質ではなく、教育を通じて育まれるものである。本学では、以下の方法で学問的誠実性の育成を図る：

- 探究型学習：児童が自ら問いを立て、調査・考察・表現を行う過程で、オリジナリティの重要性と責任感を養う。
- フィードバックと振り返り：学習の過程で教員や仲間、さらには保護者や学校コミュニティのメンバーからのフィードバックを受け、自らの行動を省察する機会を設ける。
- 明確なガイドライン：引用方法や協働作業のルールを明示し、誤解や不正行為を未然に防ぐ。

4. 学問的誠実性の違反と対応 (Violations and Responses)

学問的誠実性の違反行為には、AI利用も含め、以下のようなものがある：

- 盗用（Plagiarism）：他者の作品やアイデアを適切な引用なしに使用すること
- 不正行為（Cheating）：試験や課題で不正な手段を用いること
- 共謀（Collusion）：個人課題で他者と不適切に協力すること
- 虚偽の報告（Fabrication）：データや成果を捏造すること

違反が確認された場合、以下の対応を行う：

1. 教育的指導：違反の内容と影響を説明し、再発防止のための指導を行う
2. 再提出の機会：必要に応じて、課題の再提出を求める

3. 保護者との連携: 重大な違反の場合は保護者と連携し、対応策を協議する

5. 役割と責任(Roles and Responsibilities)

- 児童: 自らの学習活動に責任を持ち、誠実な行動を心がける
- 教員: 学問的誠実性の重要性を指導し、適切な評価とフィードバックを行う
- 保護者: 家庭での学習支援において、学問的誠実性の価値を共有する
- 本学全体: 学問的誠実性を重視する文化を醸成し、継続的な改善を図る

6. ポリシーの見直し(Policy Review)

本ポリシーは、年に一度、教職員・保護者・児童の代表による委員会で見直しを行い、必要に応じて改訂する。また、最新の教育研究動向を参考にし、学問的誠実性の教育を継続的に向上させるものとする。

制定 2025年8月20日